

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
チャイルドウィッシュしんでん		2026年 7月 15日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		住宅の構造を活かし、1階・2階と区別された生活空間を実現しています。	児童が定員に達すると学習スペースが狭くなるため、配置の工夫が必要です。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		限られた職員の中でも安心して過ごせるよう、職員配置に配慮しています。	人員には余裕がありますが、放課後等サービスとの多機能型施設のため、基準人員を満たした上で送迎人員の確保を徹底していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	物の配置を固定するなど、視覚的に分かりやすい構造にしています。また、支援体制の中に可視化の工夫を取り入れています。	階段が狭いため、子どもたちに落ち着いて昇降するよう声かけを行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		生活空間は常に清掃し、整理整頓を徹底しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		学習スペースや遊びスペースのほかに、相談室を設けています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2	職員会議や毎日の朝礼で実施しています。	非常勤職員は出勤時間にばらつきがあり、会議等に参加できない場合があります。参加できなかった職員の意見は個別に収集していますが、人員の都合により対応が困難な場合もあります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	個別懇談会を中心に、必要に応じて随時懇談会を実施しています。	適宜アンケートを実施するなどの対応を行っています。結果の報告ができていないものもあるため、保護者様へ適切に報告する機会を設けることを課題としています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		ミーティングで支援について話し合う時間を設けており、管理者と現場職員でも定期的に協議しています。	非常勤職員は出勤時間にばらつきがあり、会議等に参加できない場合があります。参加できなかった職員の意見は個別に収集していますが、人員の都合により対応が困難な場合もあります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5		運営法人の変更に伴い、外部評価の体制も見直す必要がありますが、現時点では外部評価は実施されていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7		動画研修や対面研修を実施しています。	職域によって異なりますが、主にペーパー研修を行っています。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		HPに公表しています。	公表は行っていますが、その内容が利用者様や保護者様に十分伝わっていないことがあるため、公表事実の周知徹底に取り組んでまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		個々に応じた計画書を作成するため、日々の支援や懇談会での内容を踏まえて作成しています。	他機関での検査結果や保護者様との懇談、サービス担当者会議での情報、事業所での日常の様子などを総合的に集約しアセスメントを行い、そのうえで個別支援計画書の作成を行うよう努めます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		利用児の自己決定を取り入れるため、利用児との面談も定期的実施するよう努めています。	非常勤職員は出勤時間にばらつきがあり、会議等に参加できない場合があります。参加できなかった職員の意見は個別に収集していますが、人員の都合により対応が困難な場合もあります。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		定期的なサービス担当者会議や事業所内会議、毎日の朝礼において情報共有を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		事業所内では行動観察などのインフォーマルなアセスメントを中心に行っていますが、他機関での標準化検査の結果等についてもその都度保護者様と共有し、適切な評価が行えるよう努めていきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1		毎年ガイドラインを確認し、子どもの現状に応じつつ、過不足のないねらいと支援内容を検討し、適切な個別支援計画の作成に努めていきます。

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	職員間で話し合いを行い、一人ひとりに合った活動ができるよう心がけています。	担当制のため主に個別で作成していますが、チームで相談しながら進める必要があります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		子どもに合っていない療育は見直し、必要に応じて別の療育を取り入れています。	療育担当者が毎月更新した活動プログラムを他職員と協議のうえで設定し、児童発達支援管理責任者が最終確認を行い活動内容を決定しています。また、必要に応じて研修等で得た知見を活かし、月の途中でも活動内容を変更する場合があります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			個別支援計画の作成時には、児童発達支援管理責任者と各職員で協議を行い、各児童の状況に応じて個別支援と集団活動を組み合わせた支援内容を検討するよう努めています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝礼で実施しています。支援開始前に、昨日の出来事や当日に想定されることについて打ち合わせを行っています。	非常勤職員は出勤時間にばらつきがあり、会議等に参加できない場合があります。参加できなかった職員の意見は個別に収集していますが、人員の都合により対応が困難な場合もあります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		終礼および支援終了後、翌日のミーティングにて共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			その日の子どもの様子をHUGシステムに記録し、保護者様や職員間での共有に活用するとともに、今後の支援の改善につなげるよう努めています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1		定期的なモニタリングを行い、個別支援計画の見直しに努めています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1		会議は開催されていません。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3		子どもたちの自己選択・自己決定の力を育てるため、日常生活や療育活動の中で、子ども自身が話し合い決定する場を設けるよう努めています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	4	移行先に対し、現在の利用児の様子や支援内容を伝え、今後の支援につながるよう情報共有を行っています。	送迎時などに利用児が通っている保育園の先生と話すことはありますが、細かな支援内容等の情報共有はできていません。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3		保護者様を介して連携を行っており、直接的な連携ができていない現状があるため、その改善に努めてまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	7			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	7			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	7			
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	4		運営法人の研修等への参加機会は確保していますが、地域の児童発達支援センター等との連携は十分とは言えない状況であるため、今後は連携の強化に努めてまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	地域の公園や施設などを利用し、利用児が事業所以外の人や環境と関わる機会を広げられるよう努めています。	保育所や認定こども園等との交流の機会は設けていません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		HUGやLINE、送迎時などを通して、保護者様へ情報共有や支援状況の報告を行っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		研修の企画は行っていますが実施に至っていないため、早急に実施できるよう進めてまいります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1		サービス契約時および各書面に変更があった際には、必ず説明の機会を設けるよう努めています。

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		懇談会等で実施しています。	他機関での検査結果や保護者様との懇談、サービス担当者会議の情報、事業所での日頃の様子を集約しアセスメントを行ったうえで、個別支援計画書の作成に努めています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	1	懇談会等で実施しています。	作成した個別支援計画書は、毎回管理者が説明を行い、保護者様の同意を得たうえで支援を実施するよう徹底していきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		電話、懇談会等で実施しています。	送迎時の申し送りやLINE、電話、必要に応じて対面にて相談・情報共有を行うよう努めています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6		研修の開催は企画していますが実施に至っていないため、早急に実施できるよう進めてまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			懇談会や送迎時、電話等を通じて保護者様が相談しやすい環境を整え、職員間で情報共有を行い、迅速に対応できるよう努めています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	Instagram等を使用して行っています。	保護者様にはHUGシステムやLINEを用いて日頃の様子や行事予定等の情報共有に努めています。子どもに対しては所内掲示等により行事予定等の周知を行っています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			個人情報に記載された書類は鍵付き書庫に保管し、PC等はパスワードロックを設定するなどの対応に努めています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			先方に伝わりやすい言葉を選び、イメージしやすいよう実物写真やイラストを添付するなどの配慮に努めています。
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		他所で開催される行事に参加することが多く、当事業所で地域の方を招いた企画は実施できていないため、今後法人全体で検討してまいります。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		定期的な訓練を実施しています。	マニュアルの策定や職員への周知、訓練は実施していますが、ご家族等への周知が十分でない点があるため、改善に努めます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			BCPの策定や職員への周知、訓練は実施していますが、ご家族等への周知が十分でない点があるため、改善に努めます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		職員室に掲示しています。また、契約時やフェイスシート、アセスメント等により確認しています。	保護者様から共有のあった対応等については職員間で共有し、対応に努めています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	アルコールアレルギーの児童には、別の消毒用アルコールで対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	利用児が安心して過ごせるよう、安全管理の徹底に努めています。	安全計画の作成や職員への周知、訓練は実施していますが、ご家族等への周知が十分でない点があるため、改善に努めます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	研修においても実施しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1		法人研修やグループ事業所合同研修を通じて、適切な理解・対応ができるよう振り返りや学びの機会を確保しています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1		

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 チャイルドウィッシュしんでん

公表日 2026年 7月 15日

利用児童数 2人

回収数 1人

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1					活動中の様子を見ていただく機会については、今後も設けられるよう検討していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。				1		重要事項説明書には記載がありますが、実際の運用が伝わりにくい部分があるため、来所見学や日々の説明・情報共有を通して明確化していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。				1		今後も活動見学の機会を設けられるよう対応を検討していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1					子どもたちが安心して過ごせる環境づくりを継続して進めていきます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					個々の特性やニーズに応じた支援を行うため、職員の研鑽と計画に基づいた支援の質向上に努め、取り組み内容の発信にも力を入れていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					日々の説明が計画内容と結びつきにくい点があるため、情報整理と説明の明確化を進め、安心して利用いただけるよう改善します。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1					一人ひとりに適した活動内容となるよう、今後も工夫を重ねていきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。				1		地域との関わりについては実施状況にばらつきがあるため、情報発信の方法を含めて分かりやすく伝えるよう努めます。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					今後も正確で分かりやすい情報提供を心がけていきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					説明内容を明確にしたうえで伝えるなど、保護者様に理解しやすい形で説明を徹底していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。				1		保護者様向けの研修や情報共有の機会については、今後の課題として検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	1					HUGやLINE等を通じた情報共有を継続し、引き続き共通理解の強化に努めます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					日々の様子や相談について気軽にやり取りできる関係づくりを継続していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					今後もご本人・保護者様の思いに寄り添った支援の提供に努めていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				1		保護者様同士やきょうだいの交流機会については未整備のため、今後の企画として検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					利用児には相談しやすい環境づくりを行い、保護者様にも随時連絡・相談いただけるよう周知しています。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。				1	自己評価等の公表については周知が十分でないため、ホームページ掲載情報の周知方法を強化していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。				1	個人情報の取り扱いについては、今後も適切かつ慎重に管理していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。		1			マニュアルや訓練内容については、保護者様への共有方法の改善を進めていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				1	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1				今後も安全を最優先にした支援体制の維持に努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1				事故・怪我の予防を徹底し、万が一の際にも迅速に対応できるよう職員間で共有体制を整えていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1				安心して通える環境づくりを第一に考え、継続して改善に取り組みます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1				安心して通える環境づくりを第一に考え、継続して改善に取り組みます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	1				ご利用に満足いただけている点を踏まえ、今後もより良い支援の提供に努めていきます。